

ホームID	ホーム名		法人名			評価日		
2851	グランフォレスト目白		株式会社フィルケア			H29.2.12		
評価機関	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク					H29.3.1		
評価結果								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	B	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	B	6.2.4	A	A
1.2.1	A	A	2.3.8	B	非該当	6.2.5	A	A
1.2.2	B	A	2.3.9	A	A	6.2.6	B	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	B	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	B	6.3.1	A	B
1.4.1	B	B	2.4.3	A	A	6.3.2	B	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	A	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	B	B	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	B	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	B	B	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	B	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	B	B	3.1.4	A	A	7.3.3	B	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	B	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	B	A
2.1.2	B	B	4.1.2	A	B	7.4.4	B	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	B	A
2.2.4	A	B	4.2.2	B	B	7.5.3	A	A
2.2.5	B	B	5.1.1	C	C	7.5.4	B	A
2.2.6	A	A	5.1.2	C	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	B	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	C	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	B	B	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

【評価機関の所見】

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-4-5	ホーム独自の取り組みとして、毎月優先的に2日間の希望休をシフトに組み込む等、シフトの見直しを行っている。また、全社的取り組みとして職員個々の残業時間の管理を行い、残業が一定時間を超えるとイエローカード、2ヵ月連続とレッドカードとして、ホームに注意を促している。これらの労働環境への配慮に加えて「いつも心に気遣いを」の目標を掲げ、職員の勤労意欲向上を図り、定着率改善に成果を上げている。
2-3-3	高齢者権利擁護委員会・安全対策委員会・食事委員会等5つの委員会と、施設幹部会議・全体会議等の3つの定例会議で、職員間の情報を共有し、サービスの質向上に取り組んでいる。例えば、食事委員会では肉と魚を交互にしてほしいという要望があれば、すぐメニューに取り入れるなど厨房と連携し、サービスの向上に努めている。ホームのサービス方針は、「入居者に季節を感じてもらおう」ことであり、外出意欲の向上とそのサポートに取り組んでいる。
5-2-5	協力提供病院の歯科医と衛生士が毎週1回訪問し、入居者の口腔ケアを行っている。往診日には、職員に歯ブラシのあて方・入れ歯の外し方・うがいの仕方など口腔ケアの指導をし、それを伝達して職員間で周知を図っている。また、月1～2回ホームで歯科医が嚥下訓練やトロミ量の調節も行っている。医師からの指導を職員がすぐ実践することで、食事の量が増えた入居者もあり、誤嚥を防止し、美味しく食べてもらえるよう口腔ケアに力を入れている。
6-3-2	職員の就業状況を改善して、入居者との時間を捻出し、認知症対応技術の向上に取り組んでいる。認知症の研修を受講し伝達研修をする他、ケアマネが東京都認知症介護実践者研修に出向き、職員への個人指導でさらに理解を深めている。また、協力提携病院と連携を図り、一人ひとりの具体的な事例検討も行い、医師からの助言を職員が共有して対応を統一している。職員は専門性を高めており、入居者の些細な変化に気づけるようになってきている。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
2-4-2	全社で統一のマニュアルが備置されている他、ホーム独自の早番業務、遅番業務、夜間オンコールの流れ、救急搬送の流れなどのマニュアル・手順書が作成されている。変更を必要とする場合は、その都度見直し、更新しているが、定期的な見直しは行っていない。今後は、定期的な見直し時期を決め、変更箇所がわかるよう変更履歴を残すとともに、目次により備置されたマニュアルが一覧できる等、使いやすいマニュアル作りに努められたい。
2-2-11	入居契約終了時における原状回復内容・費用については、入居契約書において「明け渡し及び原状回復」の条文中に、居室の明け渡し時に原状回復の内容及び方法について協議するものとしている。原状回復の内容・方法については、管理規程等でより詳細な定義を行い、明記することが求められる。国土交通省住宅局による「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」等を参考にして策定することを期待したい。
4-2-2	ホームでは、毎朝のテレビ体操に加え、午後毎日レクリエーション活動を計画し、入居者の生活に潤いが持てるよう取り組んでいる。季節の行事に加え、外食レク・外出レク・フラワーアレンジメント・書道・カラオケ・将棋・オセロなど実施されている。現在、レク委員会を中心に、行事計画書を立てて進めているが、話し合いの結果についての評価・反省は記録には残っていないため、記録に残し、次の行事にいかすことが望まれる。
5-1-1	おせち料理・恵方巻・ちらし寿司といった季節ごとのメニューに加え、都道府県ごとのご当地メニュー・屋台メニューを導入している。また、厨房の職員は、直接入居者の希望を聞き取っており、希望からメニューを一品追加するプラス一品料理やその場で握った寿司を提供するなど、厨房と連携して美味しい食事の提供に努めている。さらに、主菜・副菜を選ぶことで食事の時間が楽しみになるよう、選択メニューの導入も検討されたい。